

2024年度 業績の概要

2 0 2 5 年 5 月 2 3 日

日本生命保険相互会社
Nippon Life Insurance Company

1 グループ概況

2 国内生命保険事業

3 業績見通し

【参考】グループ各社の概況

① 決算のポイント

グループ

保険・サービス収益*



8兆3,895億円

(うち保険料等収入 7兆8,613億円)

前年度比 ▲5.6%

- ニチイHDを新たに連結対象とした一方、日本生命の金融機関窓販・営業職員チャネル、ニッセイ・ウェルス生命、大樹生命の減少を主因に減収

基礎利益



1兆109億円

前年度比 +32.3%

- 日本生命、ニッセイ・ウェルス生命の利息及び配当金等収入の増加を主因に増益

新契約年換算保険料



4,927 億円

前年度比 ▲5.7%

- 日本生命の金融機関窓販・営業職員チャネルの減少や大樹生命、ニッセイ・ウェルス生命の減少により減少

保有年換算保険料



4兆8,222 億円

前年度末比 +1.4%

- ニッセイ・ウェルス生命およびはなさく生命の増加を主因に増加

国内生命保険

個人保険・個人年金保険

グループ

2025年度業績見通し

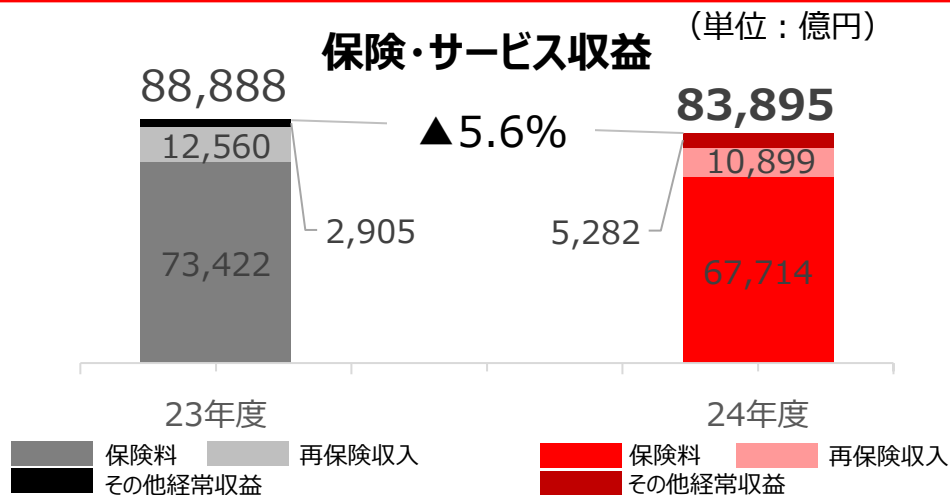
減収・増益

- 保険・サービス収益は、日本生命、ニッセイ・ウェルス生命における減少を主因に減収
- 基礎利益は、グループ事業展開に伴う海外保険領域の拡大を主因に増益

* 保険・サービス収益の合計値は、連結損益計算書における保険料等収入およびその他経常収益の合計

※【会社名称】ニチイHD：ニチイホールディングス（以下、ニチイHD）

② 保険・サービス収益／基礎利益

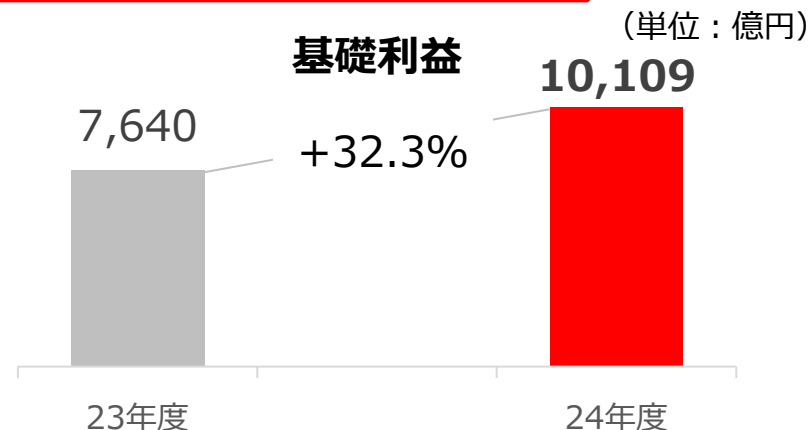


	2024年度	前年度比
保険・サービス収益	83,895	▲5.6%
保険料等収入	78,613	▲8.6%
保険料	67,714	▲7.8%
再保険収入	10,899	▲13.2%
日本生命	47,946	▲9.5%
大樹生命	8,248	▲11.2%
ニッセイ・ウェルス生命	18,875	▲8.5%
はなさく生命	690	+68.4%
MLC	2,335	+5.7%
その他経常収益	5,282	+81.8%
ニチイHD	2,308	—

※ 保険・サービス収益は、連結損益計算書における保険料等収入およびその他経常収益の合計

※ 保険料等収入の合計値は、日本生命、大樹生命、ニッセイ・ウェルス生命、はなさく生命、ニッセイプラス少額短期保険、MLC Limited（以下、MLC）、米国日本生命（以下、米国日生）を対象に算出

※ニチイHDの数値は、連結後の実績（2024年7月以降）



	2024年度	前年度比
基礎利益	10,109	+32.3%
利差益	5,512	+93.6%
保険関係損益	4,349	▲5.2%
日本生命	9,204	+29.9%
大樹生命	178	+22.6%
ニッセイ・ウェルス生命	574	+53.4%
はなさく生命	▲95	+44.8%
MLC	▲90	(▲90億円) *
ニチイHD	80	—

※ 合計値は日本生命、大樹生命、ニッセイ・ウェルス生命、はなさく生命の基礎利益、海外保険子会社・関連会社および国内外のアセットマネジメント事業子会社・関連会社、ニチイHDの税引前純利益に、持分比率を乗じ、金利変動要因の除外、一部の内部取引調整等を行い算出

※ 利差益および保険関係損益は国内生命保険の合計

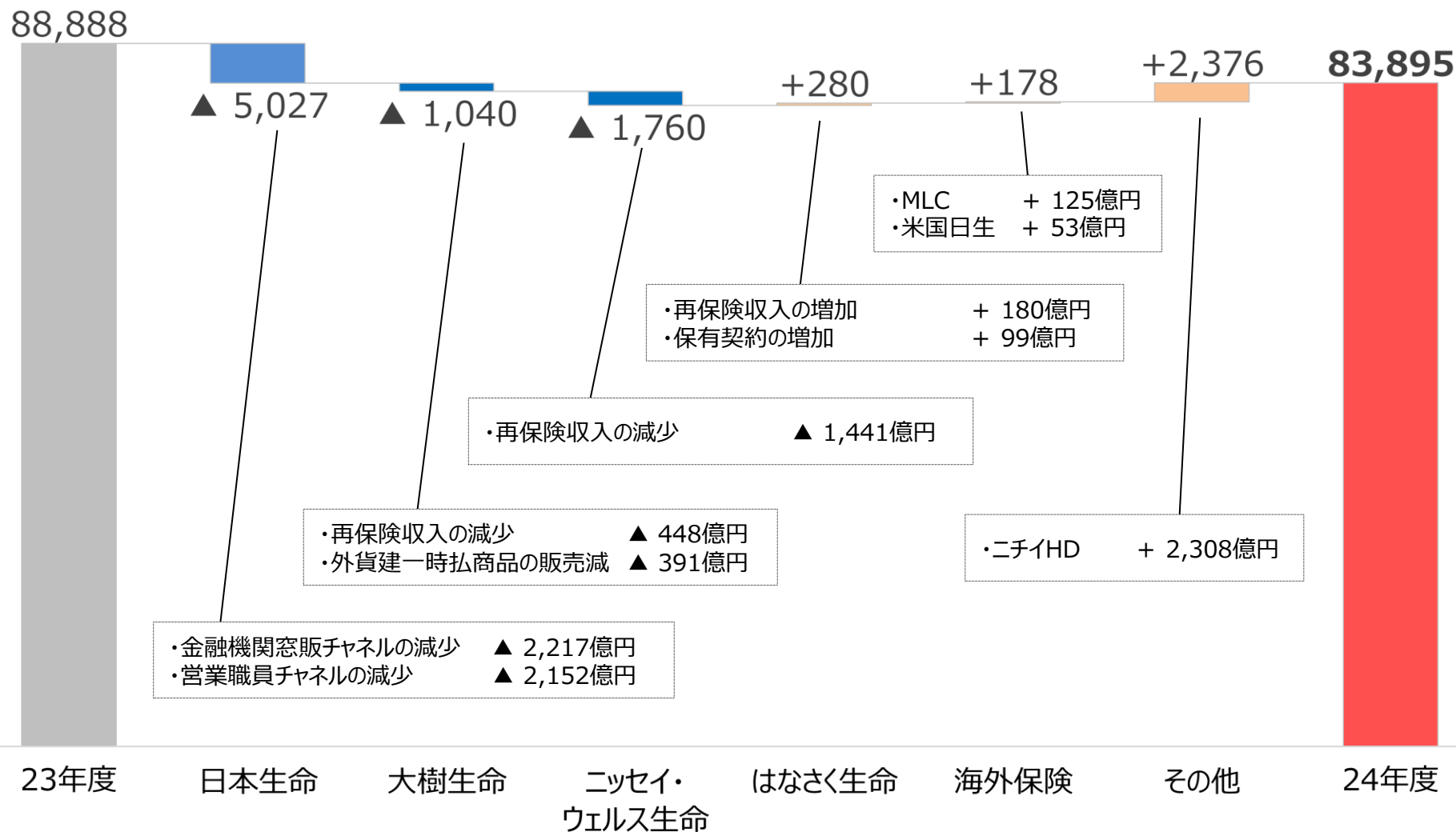
※ 子会社の数値は、対象年度当時の持分比率に基づいて算出

※ ニチイHDの数値は、連結後の実績（2024年7月以降）

* 増減率が±1,000%超のため増減率の記載は省略。括弧内数値は前年度比の増減額を記載

③ 保険・サービス収益

(単位：億円)



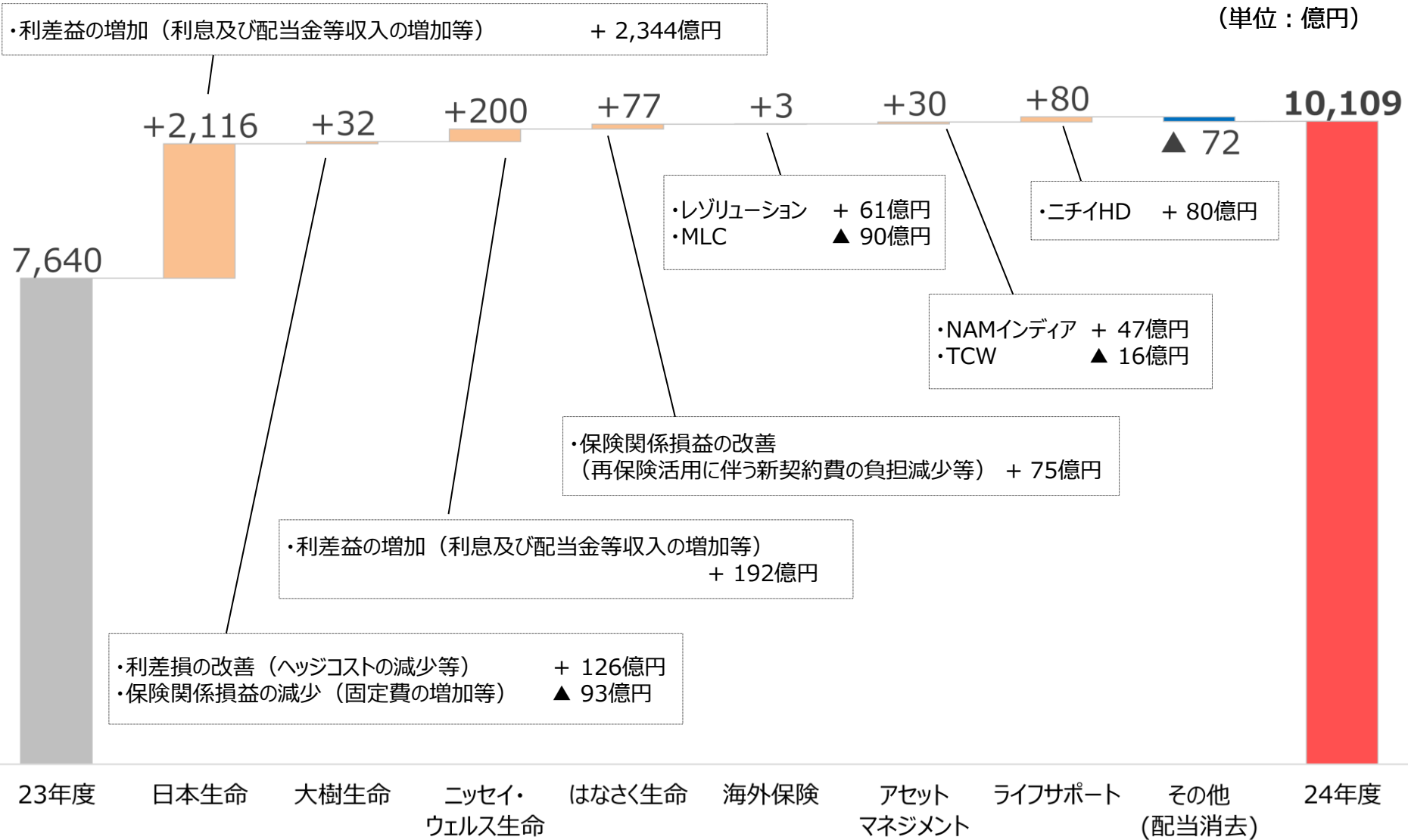
保険料等収入

その他経常収益

※ 保険・サービス収益は、連結損益計算書における保険料等収入およびその他経常収益の合計

※ ニチイHDの数値は、連結後の実績（2024年7月以降）

④ 基礎利益



※ 合計値は日本生命、大樹生命、ニッセイ・ウェルス生命、はなさく生命の基礎利益、海外保険子会社・関連会社および国内外のアセットマネジメント事業子会社・関連会社、ニチイHDの税引前純利益に、持分比率を乗じ、金利変動要因の除外、一部の内部取引調整等を行い算出

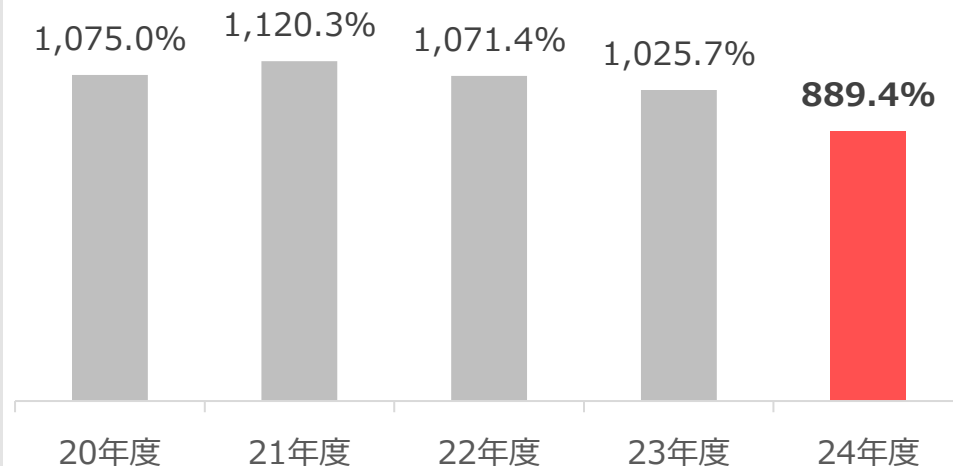
※ 【会社名称】 NAMインディア：ニッポンライフ・インディア・アセットマネジメント、レゾリューション：レゾリューションライフ

※ ニチイHDの数値は、連結後の実績（2024年7月以降）

⑤ 健全性

- ソルベンシー・マージン比率は、国内株式の含み益減少や、国内外への出資等により、前年度末比で低下。
- 実質純資産は、有価証券含み益の減少等により、前年度末比で減少。

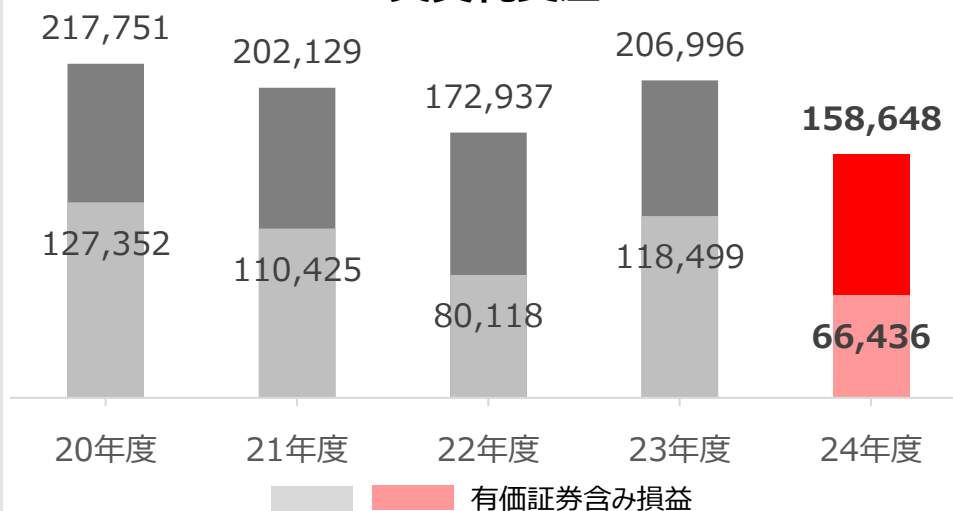
ソルベンシー・マージン比率



※ 22年度以降、MLCの数値は新会計基準適用数値

(単位：億円)

実質純資産



※ 有価証券含み損益は日本生命、大樹生命、ニッセイ・ウェルス生命、はなさく生命、海外保険子会社、その他連結対象子会社を対象に算出

※ 22年度以降、MLCの数値は新会計基準適用数値

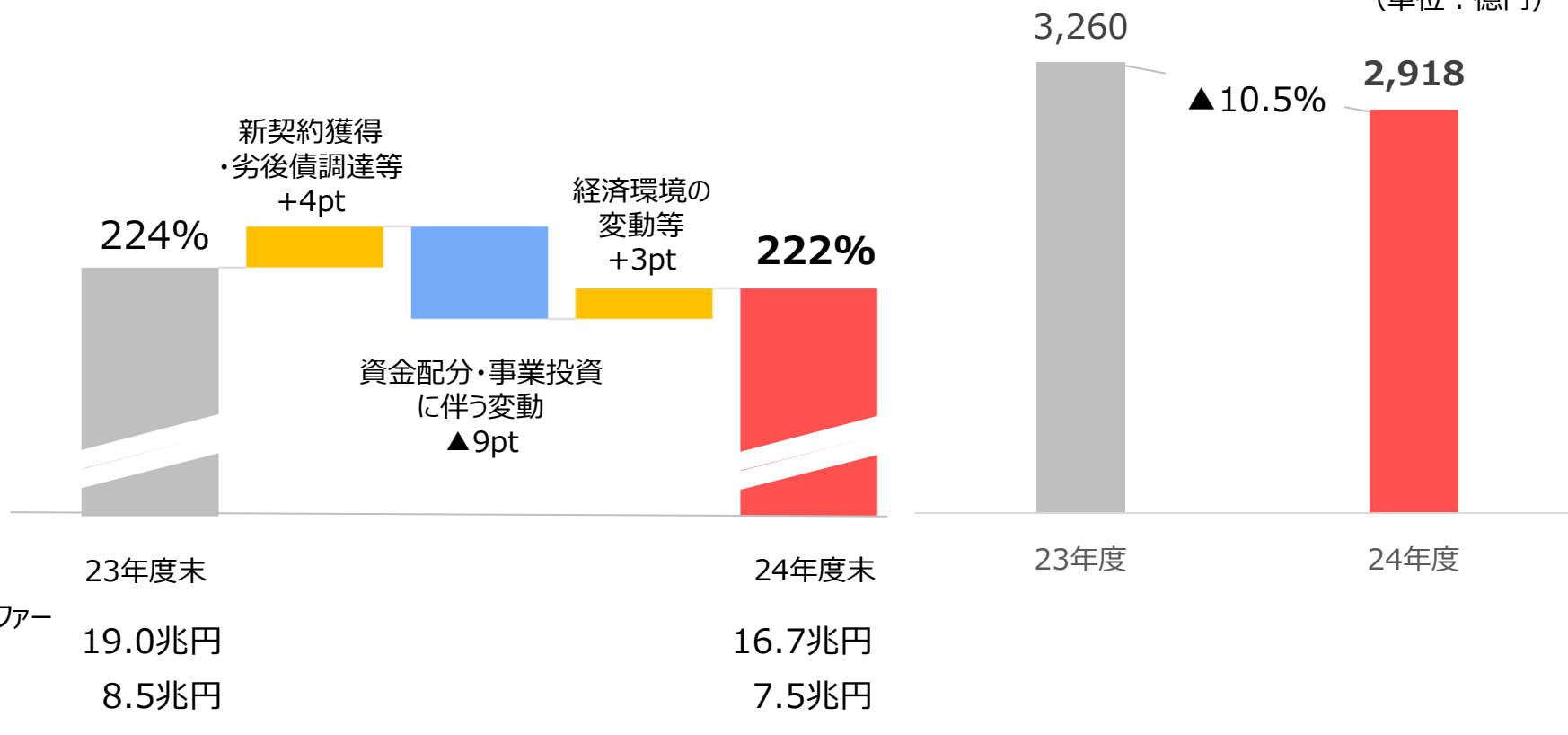
⑥ ESR・新契約価値

- 経済価値ベースのソルベンシー比率（ESR）は、新契約獲得等により上昇する一方、事業投資等の影響により、前年度末比で横ばい。
- 新契約価値は、販売量の減少や将来に向けた投資に伴う事業費の増加等により、前年同期比で減少。

経済価値ベースのソルベンシー比率（ESR）

新契約価値

（単位：億円）



⑦ 損益計算書・貸借対照表

損益計算書

- 経常利益は、前年度比で減少。
- 当期純剰余は、前年度比で増加。

(単位：億円)

	2024年度	前年度比
経常収益	110,035	▲8.4%
保険料等収入	78,613	▲8.6%
資産運用収益	26,140	▲16.2%
経常費用	104,988	▲8.1%
保険金等支払金	68,191	+3.0%
資産運用費用	11,903	+26.1%
事業費	10,448	+32.3%
経常利益	5,047	▲13.2%
特別損益	▲613	+4.7%
当期純剰余（利益）	4,354	+5.6%

貸借対照表

- 総資産は前年度末比で減少、負債は増加。
- 純資産は、前年度末比で減少。

(単位：億円)

	2025年 3月末	前年度末比
総資産	963,426	▲1.3%
有価証券	803,094	▲1.6%
貸付金	87,065	▲2.3%
有形固定資産	19,866	+4.7%
負債	876,522	+0.7%
保険契約準備金	753,434	+1.5%
責任準備金	738,972	+1.4%
価格変動準備金	17,878	+3.2%
純資産	86,903	▲17.6%

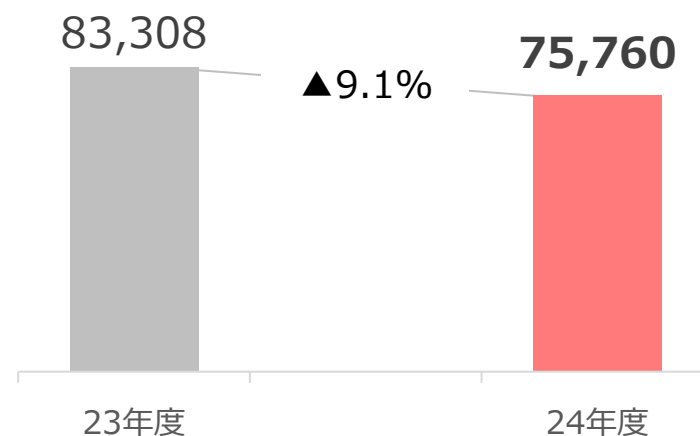
※ 当期純剰余（利益）は、連結損益計算書における「親会社に帰属する当期純剰余」の額を記載

① 保険料等収入

- 金融機関窓販チャネル、営業職員チャネルの減少を主因に減収。

保険料等収入（国内計）

（単位：億円）



	2024年度	前年度比
保険料等収入（国内計）	75,760	▲9.1%
個人保険・個人年金保険	52,750	▲8.8%
営業職員チャネル	33,351	▲6.7%
代理店チャネル	6,297	▲2.4%
金融機関窓販チャネル	13,100	▲16.2%
団体保険	2,910	+1.1%
団体年金保険	9,258	▲7.5%

※ 日本生命、大樹生命、ニッセイ・ウェルス生命、はなさく生命、ニッセイプラス少額短期保険の合計値

② 新契約

■ 個人保険・個人年金保険における新契約の年換算保険料は減少、件数は増加。

個人保険・個人年金保険

年換算保険料

件数

(単位：億円、万件)

	2024年度	前年度比	2024年度	前年度比
国内計	4,927	▲5.7%	432	+9.3%
主要保障性商品*	686	▲4.2%	351	+10.7%
営業職員チャンネル	1,946	▲3.4%	382	+10.8%
代理店チャンネル	782	▲2.1%	29	+2.3%
金融機関窓販チャンネル	2,173	▲9.2%	15	▲20.9%
日本生命	2,339	▲9.6%	380	+9.5%
大樹生命	382	▲4.3%	14	▲4.0%
ニッセイ・ウェルス生命	2,043	▲3.4%	12	▲0.1%
はなさく生命	161	+34.4%	24	+20.8%

* 死亡・生前給付を保障する商品および医療系商品を「うち主要保障性商品」として定義（終身保険や長期定期保険等は除く）、件数は概算
 ※ 海外含みの新契約年換算保険料は約5,021億円

③ 保有契約

- 個人保険・個人年金保険の保有契約の年換算保険料は増加、件数は減少。
- 団体保険は減少、団体年金保険は増加。

(単位：億円、万件)

個人保険・個人年金保険

	年換算保険料		件数	
	2025年 3月末	前年度末比	2025年 3月末	前年度末比
国内計	48,222	+1.4%	3,823	▲0.5%
主要保障性商品*	12,954	▲1.7%	2,490	▲0.7%
日本生命	37,028	▲1.0%	3,433	▲1.4%
大樹生命	5,089	▲1.6%	250	▲0.7%
ニッセイ・ウェルス生命	5,638	+21.3%	63	+20.6%
はなさく生命	466	+38.0%	75	+35.2%

* 死亡・生前給付を保障する商品および医療系商品を「うち主要保障性商品」として定義（終身保険や長期定期保険等は除く）、件数は概算
 ※ 海外含みの保有年換算保険料は約5兆615億円

団体保険・団体年金保険

	団体保険 (保障額等)		団体年金保険 (受託資産等)	
	2025年 3月末	前年度末比	2025年 3月末	前年度末比
国内計	1,072,172	▲0.6%	200,857	+0.8%
日本生命	963,430	▲0.5%	137,865	▲1.5%
大樹生命	108,742	▲1.0%	5,731	▲4.1%
その他	—	—	57,261	+7.6%

※ その他の内訳は、
 ニッセイ・ウェルス生命（12億円）、
 ニッセイアセットマネジメントの投資顧問残高（45,591億円）、
 確定拠出年金の投資信託（日本生命販売分11,657億円）

④ ご契約者配当（日本生命単体）

- 個別保険は、
利差益配当、危険差益配当
ともに増配の方針。
- 団体保険は据置、
団体年金は増配の方針。
- 配当準備金繰入額等は3,016億円、
お客様配当性向は64%となる見込み。

個別保険

- 利差益配当は約120億円の**増配**
危険差益配当は約30億円の**増配**
 - 対象 : 約1,100万件
 - 金額 : 約1,000億円

団体保険・団体年金

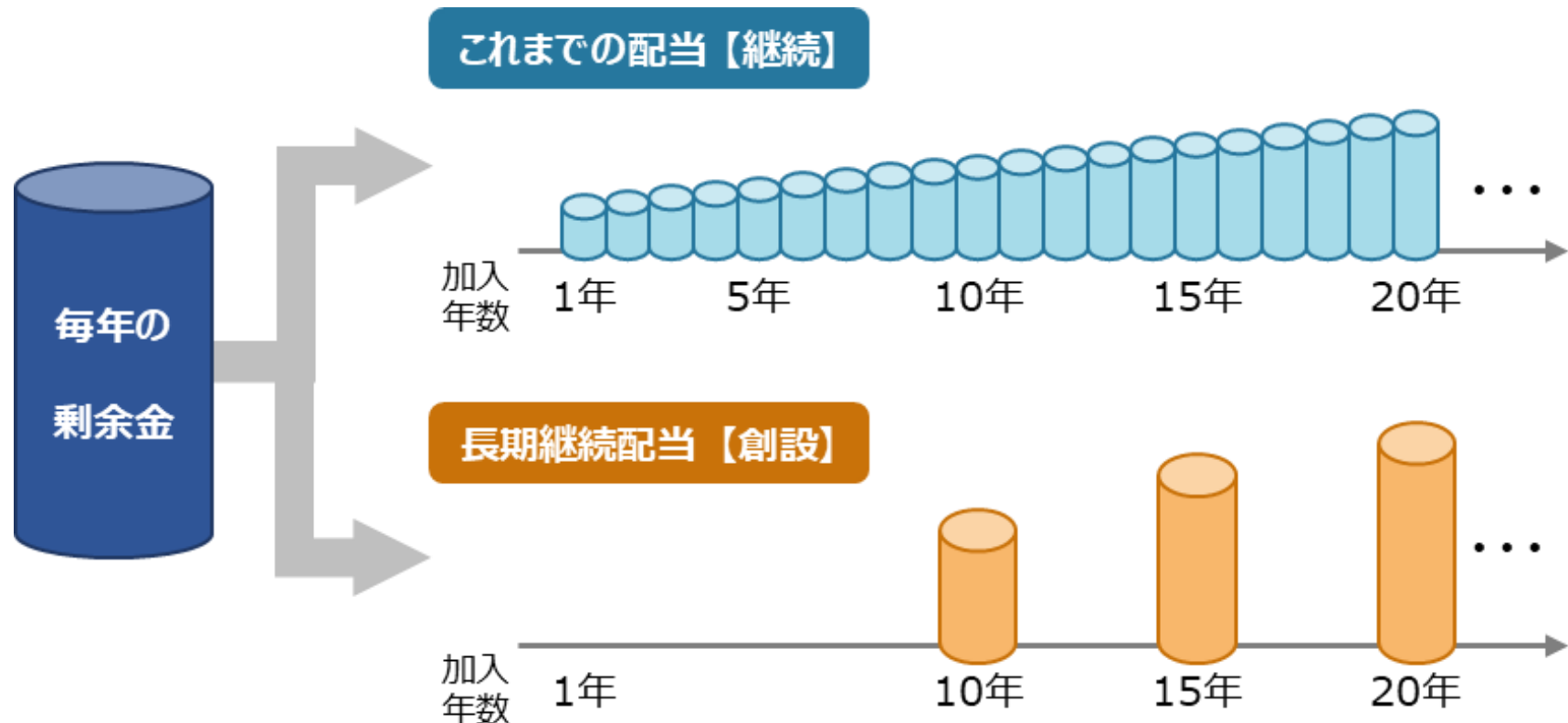
- 団体保険は**据置**
 - 対象 : 約6,600団体
 - 金額 : 約1,200億円
- 団体年金は**増配**
 - 対象 : 約6,400団体
 - 金額 : 約650億円

配当準備金繰入額等* : 3,016億円（対前年+371億円）
お客様配当性向 : **64%**

* 配当準備金繰入額と配当平衡積立金の積立額（取崩の場合は取崩額を控除）の合計額。
配当平衡積立金：契約者配当の額を安定させることを目的とする任意積立金

【ご参考】 長期継続配当の創設（日本生命単体）

- これまでの契約者配当に加え、新たに2026年4月1日から「長期継続配当」を創設。
- 2024年度決算においては、創設に向けた事前準備として配当平衡積立金を100億円積み立て、創設時の配当財源として活用する予定。



① 2025年度 業績見通し

- 保険・サービス収益は、日本生命、ニッセイ・ウェルス生命における減少を主因に減収。
- 基礎利益は、グループ事業展開に伴う海外保険領域の拡大を主因に増益。
- 保有年換算保険料は増加、新契約価値は減少。

(単位：億円、百万豪ドル)	保険・サービス収益 (保険料等収入＋その他経常収益)		基礎利益		保有年換算保険料 (国内グループ計)	
	2024年度 実績	2025年度 見通し	2024年度 実績	2025年度 見通し	2024年度 実績	2025年度 見通し
グループ計	83,895	約79,800	10,109	約11,100	48,222	約48,400
(保険料等収入)	(78,613)	(約73,400)				
日本生命	49,065	減少	9,204	横ばい	新契約価値 (グループ計)	
大樹生命	8,915	減少	178	増加		
ニッセイ・ウェルス生命	18,954	減少	574	減少	2024年度 実績	2025年度 見通し
はなさく生命	690	増加	▲ 95	減少		
MLC	1,811	増加	▲ 90	増加	2,918	約2,700
ニチイHD	〈3,058〉*1	〈増加〉*1	〈110〉*2	〈減少〉*2		
コアブリッジ	-	-	-	〈新規連結〉		

*1 ニチイHDについては、2024年度の売上高および、それに対する2025年度の売上高の増減見通しを記載

*2 ニチイHDについては、2024年度の税引前純利益および、それに対する2025年度の税引前純利益の増減見通しを記載

※ 保険・サービス収益の合計値は、連結損益計算書における保険料等収入およびその他経常収益の合計

※ 保険料等収入のグループ計は、連結保険料等収入（日本生命、大樹生命、ニッセイ・ウェルス生命、はなさく生命、ニッセイプラス少額短期保険、MLC、米国日生を対象に算出）

※ 基礎利益のグループ計は、日本生命、大樹生命、ニッセイ・ウェルス生命、はなさく生命の基礎利益、海外保険子会社・関連会社および国内外のアセットマネジメント事業子会社・関連会社、ニチイHDの税引前純利益に、持分比率を乗じ、金利変動要因の除外、一部の内部取引調整等を行い算出

※ MLCの保険・サービス収益は収入保険料。基礎利益は税引前純利益に持分比率、金利変動要因等の除外を行い算出（現地通貨ベース）

※ 【会社名称】 コアブリッジ：コアブリッジ・ファイナンシャル

【参考】中期経営計画（2024-2026）における数量目標の進捗状況

- 2024年度よりスタートした中期経営計画は着実に前進するも、計画達成に向け一層の取り組みが必要な状況。
- 2025年度は、グループ全体で取り組みを一層加速するとともに、国内保険事業のバリューアップとグループ事業の強化に重点的に取り組む。

社会に提供する価値

	2023年度末	2024年度末	目標値 (2026年度末)
お客様数 (国内グループ)	1,492 万名	1,519 万名	1,560 万名
お客様満足度 (日本生命単体)	95 %	93 %	90%以上維持
顧客企業数 (国内グループ)	34 万社	34 万社	35 万社
預かり資産 (グループ全体)	118 兆円	119 兆円	121 兆円

当社グループの成長

	2023年度末	2024年度末	目標値 (2026年度末)
保有年換算保険料 (国内グループ)	4.75 兆円	4.82 兆円	4.85 兆円
新契約価値 (グループ全体)	3,260 億円	2,918 億円	3,500 億円
基礎利益 (グループ全体)	7,640 億円	10,109 億円	8,600 億円

健全性・ご契約者配当

	2023年度末	2024年度末	目標値 (2026年度末)
ESR (グループ全体)	224 %	222 %	200～270%
お客様配当性向 (単体)	51 %	64 %	安定的に60%程度

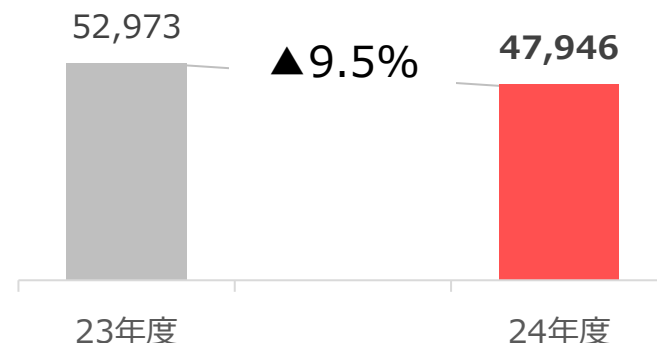
【参考】 グループ各社の概況

日本生命（単体）：収支

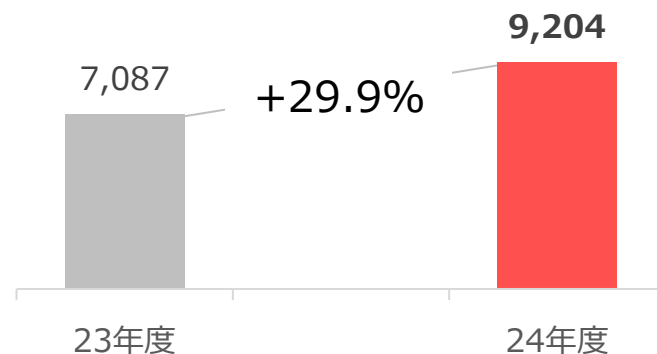
- 日本生命単体は、前年度比で減収・増益。
- 保険料等収入は、金融機関窓販チャネルおよび営業職員チャネルの減少を主因に減収。
- 基礎利益は、利息及び配当金等収入の増加を主因に増益。

保険料等収入

（単位：億円）



基礎利益



	2024年度	前年度比
基礎利益	9,204	+29.9%
利差益	5,153	+83.5%
保険関係損益*	4,051	▲5.3%

* 費差益と危険差益の合計

日本生命（単体）：資産運用

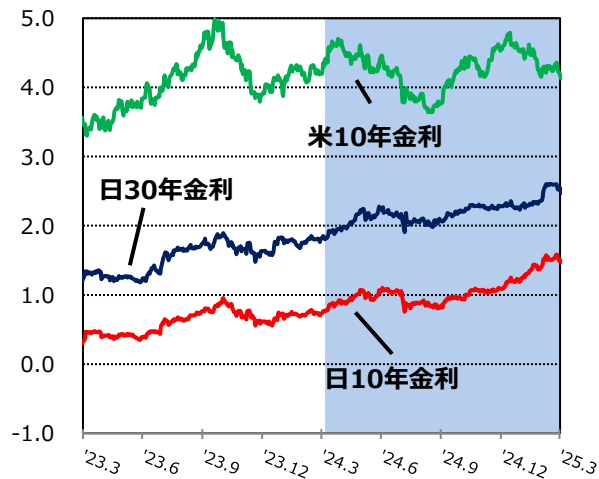
- 資産運用収支は、前年度比で減少。
- 資産運用収益は、利息及び配当金等収入の増加を主因に増加。
- 資産運用費用は、有価証券売却損の増加を主因に増加。

資産運用収支（一般勘定）（単位：億円）

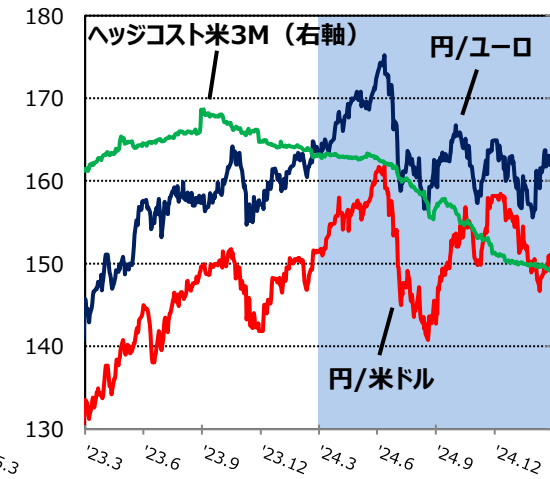
	2024年度	前年度比
資産運用収益	22,163	+1,273
利息及び配当金等収入	18,269	+2,193
有価証券売却益	3,883	+729
資産運用費用	9,003	+2,033
有価証券売却損	5,020	+2,261
有価証券評価損	25	▲40
金融派生商品費用	2,174	▲709
為替差損	305	+305
資産運用収支	13,159	▲760

マーケット状況

（単位：%）



（単位：円）



（単位：%）

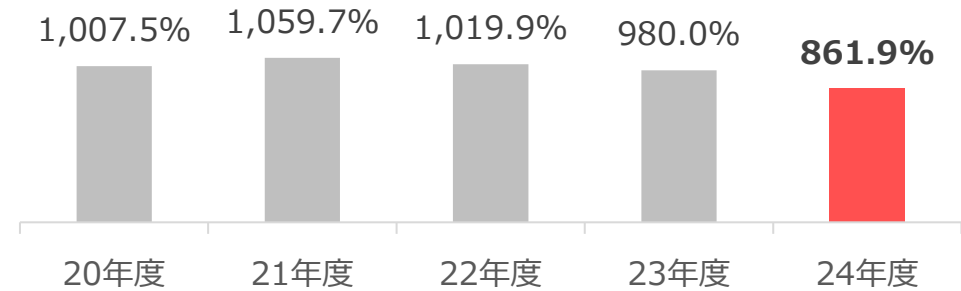
（単位：pt）



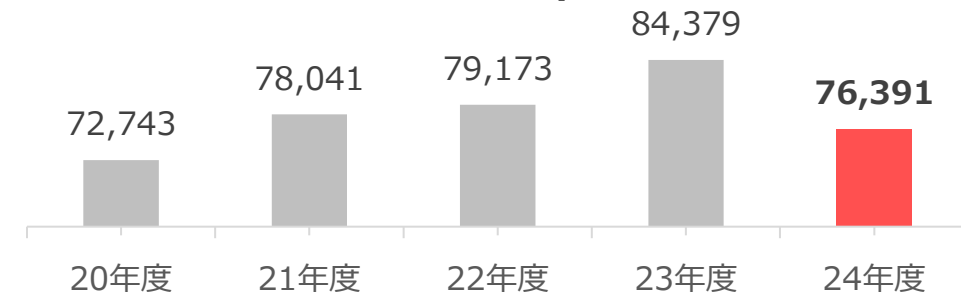
日本生命（単体）：健全性

- ソルベンシー・マージン比率は、国内株式の含み益減少や、子会社等リスクの増加等により、前年度末比で低下。
- 自己資本は、逆ざやへの対応をより十全に行うため、危険準備金を取り崩して追加責任準備金に積み直したことを主因に、前年度末比で減少。
- 有価証券の含み益は、国内債券の含み損拡大および国内株式の含み益減少を主因に、前年度末比で減少。

ソルベンシー・マージン比率



自己資本 (単位：億円)



有価証券 含み損益 (単位：億円)

	2025年 3月末	前年度末比
有価証券	73,619	▲46,407
公社債	▲35,955	▲25,839
国内株式	79,408	▲16,369
外国証券	30,784	▲2,698
その他	▲617	▲1,500

※ 市場価格のない株式等および組合等は除いて算出

日本生命（単体）：継続率・代理店数・営業職員数

（ご参考）

	2025年 3月末	前年度末比	前年度末
新規6月目継続率	97.7%	+ 0.2pt	97.5%
合計13総合継続率	95.4%	▲ 0.2pt	95.6%
代理店（単位：店）	19,125	▲ 37	19,162
うち金融機関	296	▲ 2	298
営業職員（単位：名）	47,842	▲ 95	47,937

※ 新規6月目継続率とは、新規契約かつ月払の6月目継続率

※ 合計13総合継続率とは、新規・転換契約の合計で、月払・年払・一時払のすべての保険料の支払い方法を含んだ13月目継続率

※ 2025年3月末の「新規6月目継続率」の対象は、2023年9月から2024年8月までの新規契約

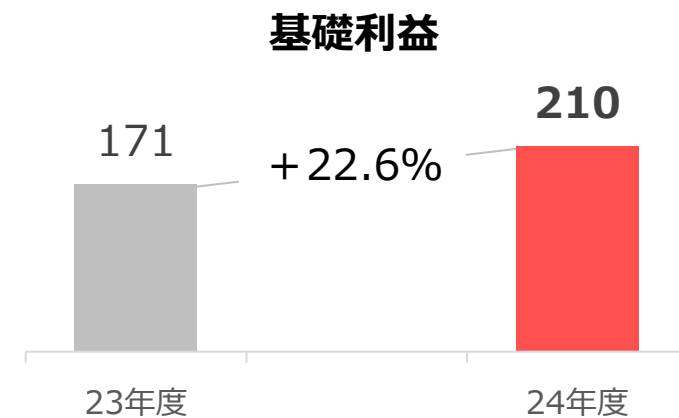
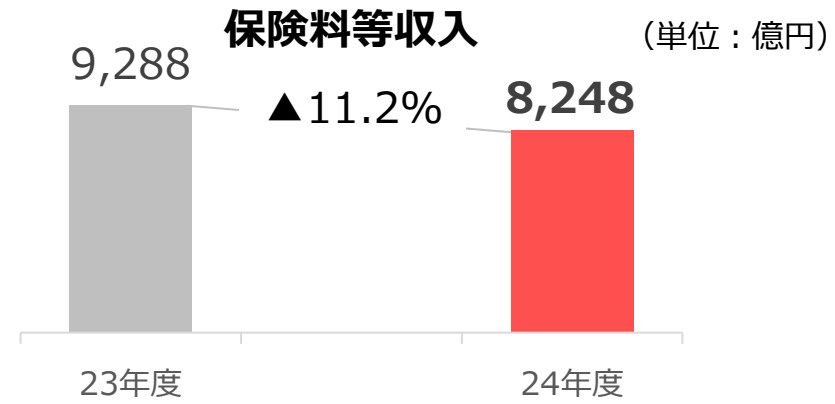
※ 前年度末の「新規6月目継続率」の対象は、2022年9月から2023年8月までの新規契約

※ 2025年3月末の「合計13総合継続率」の対象は、2023年1月から12月までの新規および転換契約

※ 前年度末の「合計13総合継続率」の対象は、2022年1月から12月までの新規および転換契約

大樹生命

- 前年度比で減収・増益。
- 保険料等収入は、外貨建一時払商品の販売減を主因に減収。
- 基礎利益は、固定費の増加等により保険関係損益が減少した一方、ヘッジコストの減少等による利差損益の改善により増益。



	2024年度	前年度比
基礎利益	210	+ 22.6%
利差益	▲ 252	+ 37.1%
保険関係損益*	462	▲ 19.2%

* 費差益と危険差益の合計

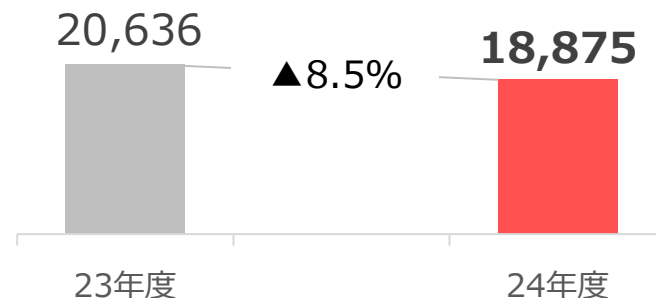
※単体の数値を記載

ニッセイ・ウェルス生命

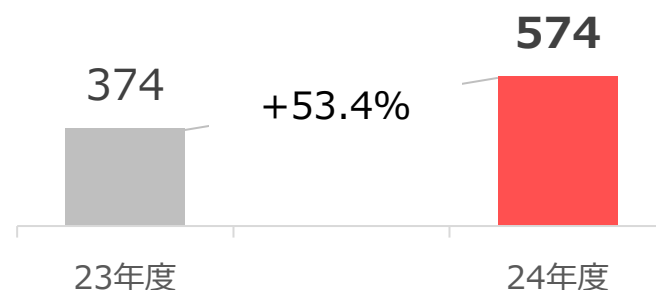
- 前年度比で減収・増益。
- 保険料等収入は、出再方式の変更による再保険収入の減少を主因に減収。
- 基礎利益は、利息及び配当金等収入の増加を主因に増益。

保険料等収入

(単位：億円)



基礎利益



	2024年度	前年度比
基礎利益	574	+ 53.4%
利差益	570	+ 50.9%
保険関係損益 ^{*1}	4	(増益) ^{*2}

*1 費差益と危険差益の合計

*2 当年度と比較対象年度の数値が異符号のため、増減率算出不可

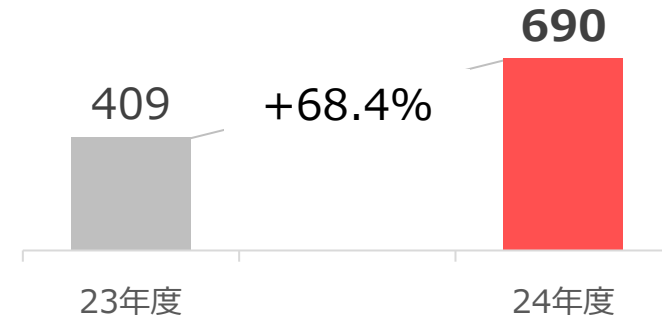
※ 単体の数値を記載

はなさく生命

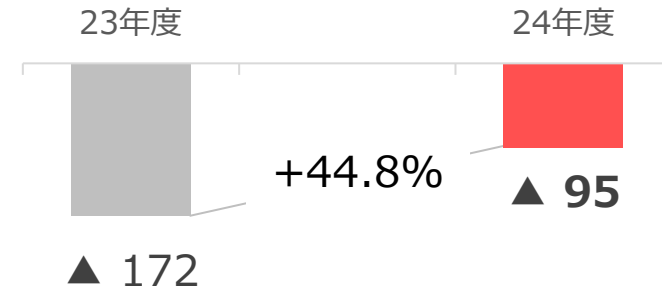
- 前年度比で増収・増益。
- 保険料等収入は、再保険収入の増加および保有契約増加を主因に増収。
- 基礎利益は、事業拡大による事業費等の支出増の一方、再保険の活用に伴う新契約費の負担減少等による保険関係損益の改善を主因に増益。

保険料等収入

(単位：億円)



基礎利益



	2024年度	前年度比
基礎利益	▲ 95	+44.8%
利差益	3	+155.4%
保険関係損益*	▲ 98	+43.2%

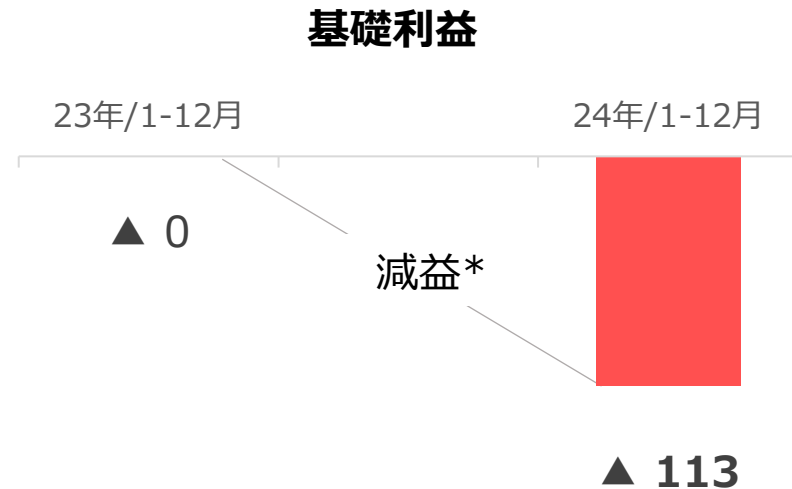
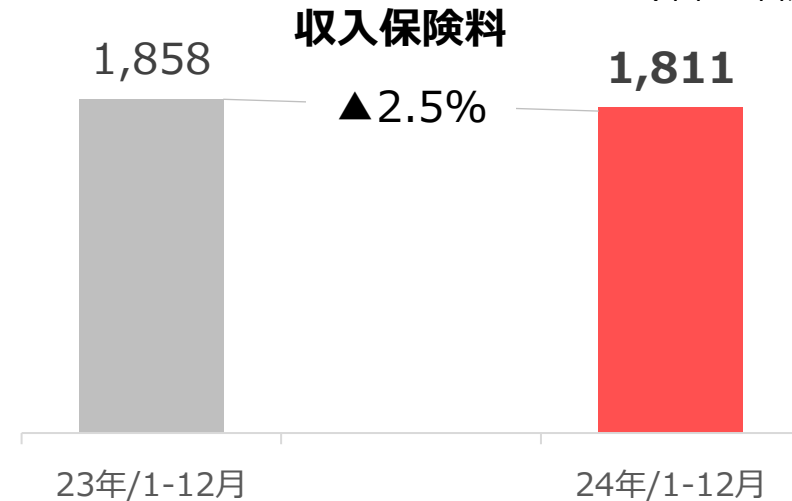
* 費差益と危険差益の合計

※単体の数値を記載

MLC

- 対23年1-12月で減収・減益。
- 収入保険料は、団体保険領域における収入減を主因に減収。
- 基礎利益は、個人保険領域における保険金支払増加、およびそれに伴い将来支払想定の変更を当年度収支に反映したことを主因に減益。

(単位：百万豪ドル)



※ 単体の数値を記載

※ 収入保険料は、日本会計基準に基づいた実収ベース（旧会計基準）で表示

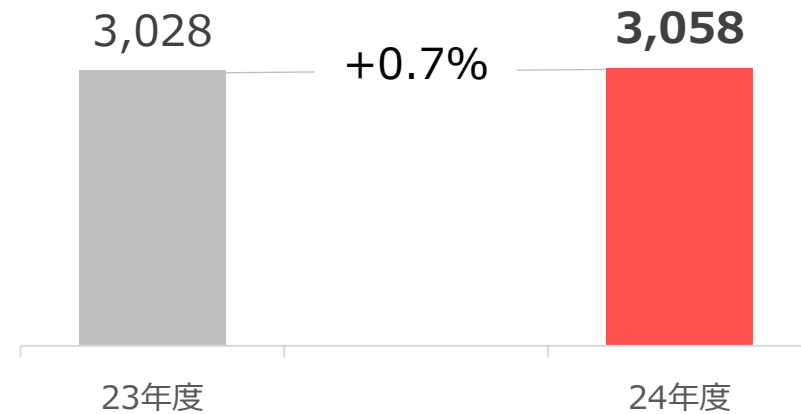
* 増減率が±1,000%超のため増減率の記載は省略

ニチイHD

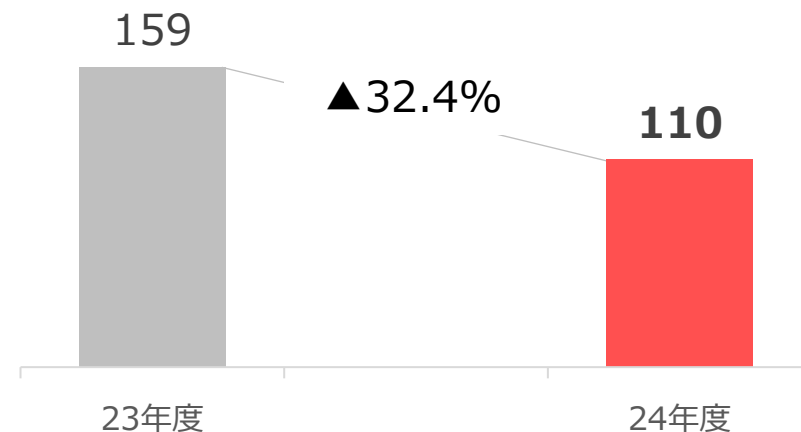
- 前年度比で増収・減益。
- 売上高は、医療関連・介護・保育領域の主要3事業において増収。
- 税引前純利益は、人件費増による営業利益の減少に加え、営業外収入の減少等により減益。

売上高

(単位：億円)



税引前純利益



※ ニチイHD連結財務諸表の数値(2024年4月～2025年3月)を記載

1. 定義・概要

ESR (Economic Solvency Ratio) :

グループ全体のリスク量に対する資本（リスクバッファ）の十分性を示す比率で、リスク量およびリスクバッファは、保有する資産および負債の経済価値評価^{*1}に基づき計算しています。

リスクバッファ（ESRの分子）：

リスクに対処するために使用できる資本で、連結貸借対照表上の純資産に、価格変動準備金、危険準備金等の負債性の内部留保、劣後特約付債務、満期保有目的債券、責任準備金対応債券、貸付金、不動産等の資産の含み損益および保険負債の含み損益を合計したもののから、処分予定の剰余金やのれん等の無形資産を控除したものです。

なお、保険負債の含み損益は、保有契約から生じる将来の利益の現在価値を評価したものから、オプションと保証の時間価値^{*2}とリスクマージン^{*3}を控除することにより算出しています。

リスク量（ESRの分母）：

当社を取り巻く環境の変化により、発生しうる損失を統計的に評価したもので、生命保険リスク、巨大災害リスク、市場リスク、信用リスク、経営管理リスク等を計測しています。各リスクは、将来1年間で99.5%の確率で発生する最大の損失として、バリュー・アット・リスク（VaR）等の方法で計測しています。

新契約価値：

期中に締結した保険契約（転換契約を含む）から生じる将来の利益の現在価値を評価したもの^{*4}で、2025年3月末の保険負債の含み損益の算出に用いたものと同じ計算前提を使用しています。

*1 市場価格に整合的な評価または、市場に整合的な原則・手法・パラメーターを用いる方法により導かれる将来キャッシュフローの現在価値に基づく評価。

*2 利率や給付額の最低保証など、不利な経済環境下でも保険会社が保証を行うことに伴うコストを評価したもの。

*3 保険契約に関する将来キャッシュフローの変動に備えるための必要額。

*4 新契約にかかるオプションと保証の時間価値を控除しています。

2. 計算前提

経済前提

（a）リスク・フリー・レート

参照金利として評価日現在の国債利回りを使用しています。^{*5}

（b）割引率

キャッシュフローの発生年限に対応した区分ごとに設定しています。

第1区分（経過0～30年目）

負債と同通貨の各国債金利のスポット・レート（リスク・フリー・レート）に各社の実績等を基に、運用期待収益率を上乗せ。

第2区分（経過31～60年目）

終局金利^{*6}を仮定し、補外開始年度を30年目として31年目以降のフォワード・レートが30年間で終局金利の水準となるようにスミス・ウィルソン法により補外。

第3区分（経過61年目～）

終局金利をフォワード・レートとして設定。

（参考）2025年3月末スポット・レート

期間	円	米ドル	豪ドル
10年	1.5%	4.3%	4.5%
20年	2.3%	4.8%	5.0%
30年	2.7%	4.6%	5.3%

非経済前提

保険種類別に、過去の支払実績等に基づき、死亡率の改善やインフレ率等を勘案して、保険料、事業費、保険金・給付金、解約返戻金、契約者配当金等の将来キャッシュフローを予測しています。

*5 一部商品の新契約価値については、契約月の末日または契約月の属する四半期末時点の経済前提を使用しています。

*6 市場金利が観測できない超長期年限の負債の現在価値を評価する際に、フォワード・レートが一定の水準（終局金利）に収束するという考え方にに基づき、超長期年限の金利を推計しており、円金利の終局金利は2.9%、米ドル3.5%、豪ドル4.0%としています。